

エコセーバーV240SP・操作マニュアル

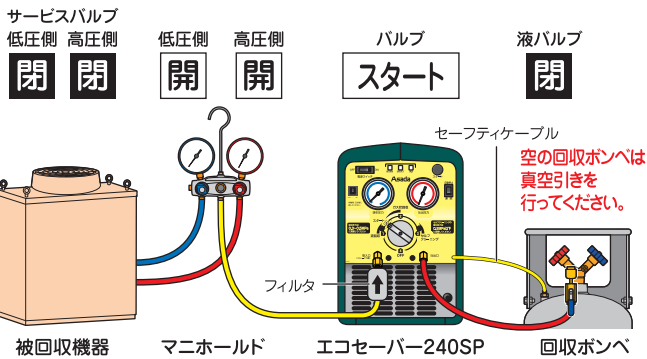
注意

本マニュアルは操作手順の概略を示したものです。ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、取扱説明書を必ずお読みください。

フロン回収作業

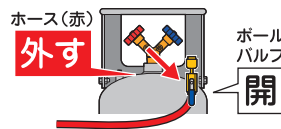
一般的な液回収の操作方法について示します。

1 ホース類の接続と排気



- ① ホース・コード類と各バルブを上図のようにセットする。
※ フィルタの取付方向に注意すること。
回収量 90kg または詰まったときに交換すること。

- ② ホース(赤)のボールバルブを **開**

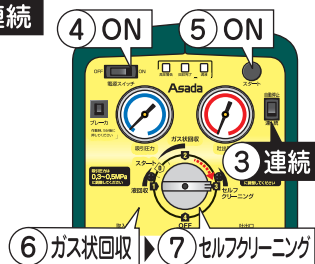


- ③ 自動停止/連続スイッチを **連続**

- ④ 電源スイッチを **ON**

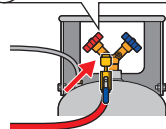
- ⑤ スタートスイッチを **ON**

- ⑥ 回収装置のバルブを **ガス状回収**



- ⑦ 吸引圧カゲージが真空に達したら、回収装置のバルブを **セルフクリーニング**

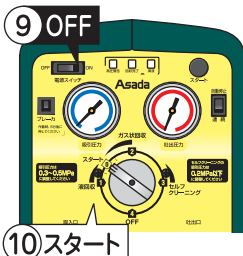
- ⑧ 液側に接続



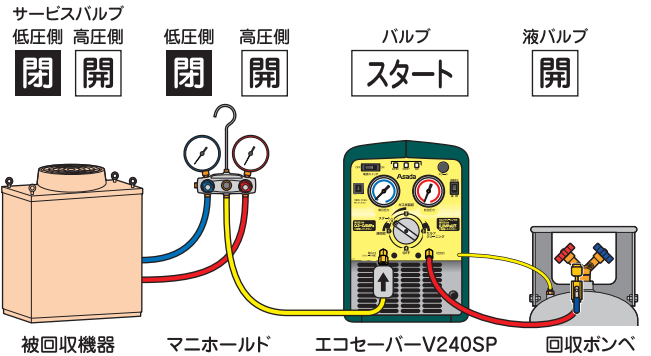
- ⑧ 再度、吸引圧カゲージが真空に達したら、一旦外したホースをボンベの液側に **接続**

- ⑨ 電源スイッチを **OFF**

- ⑩ 回収装置のバルブを **スタート**



2 回収作業



- ① 各バルブを上図のように操作する。
※ 回収装置のバルブを **スタート** に合わせてから、被回収機器とマニホールド高圧側のバルブを **開** にしてください。

- ② 自動停止/連続スイッチを **連続**

- ③ 電源スイッチを **ON**

- ④ スタートスイッチを **ON**

- ⑤ 回収装置のバルブをゆっくりと **液回収** 側へ回す

※ 吸引圧力を0.3~0.5MPaに調整

- ⑥ 液回収が終了し、ガス回収に変わったら、被回収機器とマニホールドの低圧側を **開**

- ⑦ 回収装置のバルブを **ガス状回収** 側へ回す。

※ 吸引圧力を0.3~0.5MPaに調整

- ⑧ 自動停止/連続スイッチを **自動停止**

- ⑨ 回収完了ランプが点灯し、自動停止。

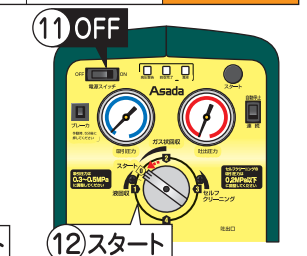
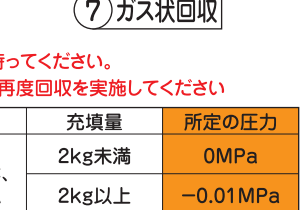
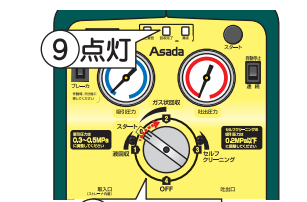
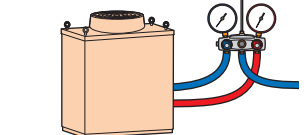
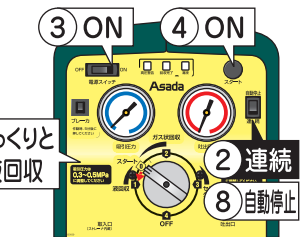
※ 回収終了後5~10分そのまま放置して、冷凍機油に溶け込んだフロンの蒸発を待ってください。
※ 所定の圧力より圧力が上昇した場合は、再度回収を実施してください

冷媒種類				充填量	所定の圧力
R12、R22、R407D、	R500、R134a、R410A、	R502、R412A、R507A、	R509、R407C、R404A	2kg未満	0MPa
				2kg以上	-0.01MPa

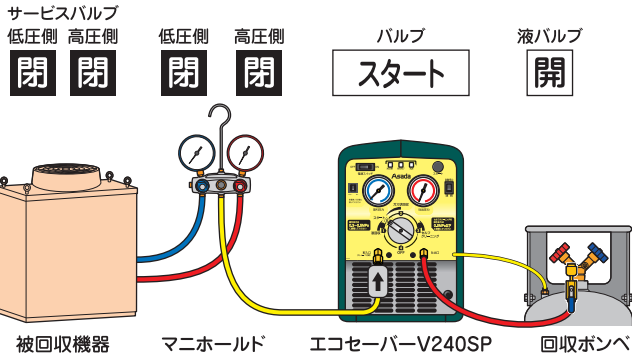
- ⑩ 被回収機器とマニホールドの低圧側・高圧側を **閉**

- ⑪ 電源スイッチを **OFF**

- ⑫ 回収装置のバルブを **スタート**



3 フロン排出(セルフクリーニング)作業



① 自動停止/連続スイッチを **連続**

② 電源スイッチを **ON**

③ スタートスイッチを **ON**

※ 起動しない場合は、バルブを右回りにゆっくりと 2 回転させ、**スタート**に合わせてから起動する。

④ 回収装置のバルブをゆっくりと **セルフクリーニング**

吸引圧力を0.2MPa以下に調整

⑤ 吸引圧力ゲージが真空になったらすぐに回収ボンベの液バルブを **閉**

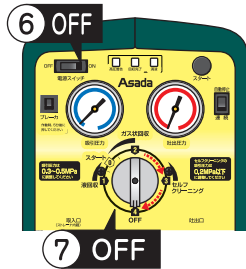
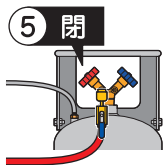
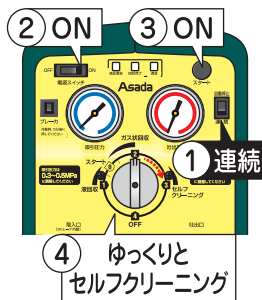
⑥ 電源スイッチを **OFF**

⑦ 回収装置のバルブを **OFF**

⑧ 回収装置の吐出側ホース(赤)のバルブを **閉**

※ 回収装置内及び吐出側ホースにはガス状冷媒が残っています。真空引きされたボンベを使用して、回収装置内及びホース内のフロンを回収してください。

⑨ ホースの接続を **外す**



すべての回収作業が終了

注意

● 電源の電圧降下にご注意ください。

防止方法

- ・できるだけ元電源、回収装置単独で使用する。
- ・やむを得ず延長コードやリールコンセントを使用する場合は、線径の太いものを使用する。
- ・コードリールは、巻いたまま使用しない。
- ・昇圧器(アップトランス)を使う。
- ・3KVA 以上の発電機を使う。

● 周辺温度が高い場合、ボンベの温度・圧力の上昇にご注意ください。

対処方法

- ・真空引きされた予備のボンベと交換する。
- ・サブクールによりボンベを冷却する。
- ・回収装置の吸引側の圧力を下げて使用する。
- ・別売のクーリングユニットを使用する。

回収時間の短縮方法

● 回収ボンベ内の圧力上昇を抑える(夏場での回収/効率的な段取り)方法

- ・日陰の風通しの良い場所に回収機器を設置。
- ・回収装置や回収容器を床に直置きせず、床から1m程度はなす。
- ・予備の回収容器を日陰に数本用意しておく。
- ・周辺温度が高い場合には、空冷凝縮器の効果が低い為、扇風機等で凝縮空気量を増加させる。
- ・回収容器を濡れ雑巾などを利用して冷却する。
- ・周辺温度が高い場合には、回収容器を扇風機などで強制冷却させる。
- ・クーリングユニットやサブクールを適時使用する。
- ・できるだけ液回収を優先して回収する。
- ・回収装置の吐出圧力が高くないように、吸引圧力を調整し、回収作業を行う。

● 機器内の圧力低下による効率低下を防ぐ(低温・凝縮液化/効率的な段取り)方法

- ・液回収優先した後、液・ガス両側ポートから回収。
- ・対象機器のクランクケースヒータを通電したままにする。
- ・アキュムレータ等に結露したら加温・振動し蒸発を促す。
- ・吸引圧力が 0.1MPa 程度で、回収が進まない場合、作業を休止し圧力上昇を待って回収を再開。
- ・複数の機器を同時接続し、低温凝縮の影響を低減させる。
- ・縦配管が長い場合は、配管下部からも回収を行うことや配管下部を加温・振動し蒸発を促す。

出典：冷媒回収推進・技術センター「冷媒回収処理技術」
(社)日本冷凍空調設備工業連合会「フロン回収ポケットマニュアル」

Asada アサダ株式会社

本社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

支店 / 東京・名古屋・大阪	海外事業所	工場
営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜 広島・福岡	アサダ・タイランド社 台湾浅田股份有限公司 アサダ・アールコムマナリー社 アサダ・ベトナム社 アサダ・インド社 上海浅田进出口有限公司 アサダ USA	(バンコク) (台北) (クアラルンプール) (ホーチミン) (ムンバイ) (上海) (札幌・ユウフ)
	犬山工場 (愛知県・犬山市) アサダ第一精工株式会社 (松本市) アサダ・マンナリー社 (バンコク)	コードNo. IM0435 Ver.01 V

www.asada.co.jp